

リーグ規定

● 参加チーム規約

- ① リーグコンセプト（Fの精神）及びリーグ規定に沿うことができること
- ② 過去1年間で安定した活動（概ね月2回）が出来ているチームであること
- ③ 日程消化やグラウンド確保に最大限の努力ができ、リーグ運営に全面的に協力できること
- ④ 統一された色のユニフォームを持っていること
- ⑤ 社会人としての良識を持ち行動できること
- ⑥ 報告・連絡・相談・確認が出来る窓口（代表者・副代表）を立てること
- ⑦ 審判（免許不問）の出来る者をチーム内に確保できること
- ⑧ フェアプレーを心掛け、レガース等の着用義務を守ること
- ⑨ 登録費を確実に期限までに支払いができること
- ⑩ 楽しく、仲良く、心からサッカーを楽しむこと

● 試合日程及び消化について

【大会方式】

- ◆ 11チームでの1リーグ制
- ◆ シーズンは3月～12月までの10ヶ月とする

● チーム登録について

【チーム登録】

- ◆ リーグ参加チームは、事務局の了承を得ること

【メンバー登録】

- ◆ 年齢制限は設けない
- ◆ 選手数の上限は設けない
- ◆ メンバー名は基本的に実名とする。止む無く実名を伏せたい場合は、あだ名や偽名を許可する
- ◆ スコアシートに記載のない選手の出場が発覚した場合、ペナルティを与える

● 順位・勝敗について

- ◆ 順位は勝ち点制によって決定する（勝ち…3点 / 引分け…1点 / 負け…0点）
- ◆ 全日程終了時点で、総勝ち点数が最も多いチームを優勝とし、以下総勝ち点順に順位をつける
- ◆ 勝ち点数が同一の場合は、得失点差の優劣により順位を決定する
- ◆ 勝ち点数・得失点差の両方とも同一の場合は、総得点⇒直接対決の結果の順で上位を決定する

● 試合運営について

【対戦スケジュール調整】

- ◆ 試合日程は各チームの代表者が打合せをして調整する
- ◆ 主催チームの試合参加確認に対して、参加か不参加かを必ず連絡する
- ◆ 主催チームは、グラウンド取得、スケジュール調整、審判団の割り当て、準備及び撤去チームを決定し、事務局に報告する
 - ※3チーム以上での開催が望ましい
 - ※主催チームにはM.E.Tポイント加算する
- ◆ 都合で試合が行えなくなったチームは主催チームとの合意の上、試合日の2週間前であるならば、試合の延期を認めることとする
- ◆ 試合日の2週間前を過ぎた後、都合で試合が行えなくなった場合、該当チームを不戦敗とする
- ◆ シーズン終了後、不戦敗が2試合以上の場合、次シーズンは参加できない
- ◆ シーズン開始3ヶ月後、1試合も消化できてないチームはリーグより退会処分とする

【試合会場に持っていく必要書類について】

- ◆ スコアシート（念のため2枚用意） / ボールペン / 試合球1個

【試合会場にて（試合前）】

- ◆ 当日の準備・設営・撤去・審判団は主催チームが定めるものとし、各チーム与えられた役割を全うすること
- ◆ 試合開始10分前に代表者同士及び審判団にてルール等の確認をし、スコアシートを提出すること
- ◆ キックオフ時間や試合運営に遅れが生じた場合、該当チームにペナルティを与えるものとする
- ◆ ユニフォームの色が同系統である場合は、該当チーム同士で協議しユニフォームを変更して試合に臨む事とする（ビブス可）
- ◆ キックオフ前に参加者全員で整列し、必ず挨拶&握手を行うものとする

【試合会場にて（試合中）】

- ◆ 試合中、各チームのスコアシートは主催チームが任命した審判団により記入される

【試合会場にて（試合終了後）】

- ◆ 試合終了後は参加者全員で整列し、お互いの健闘を称え挨拶&握手を行うこと
- ◆ 試合終了後、審判団が記入したスコアシートを両チームの代表者と審判団にて、スコア・得点者等の確認を行う
- ◆ 集計が終わったスコアシートは、該当チームの代表者が最終確認を行い、事務局へメール及び LINE にて提出する（写メ可）

【試合結果報告】

- ◆ スコアシートの提出締め切りは、試合日より3日以内とする
- ◆ 結果報告が締め切りを超えた場合はペナルティを与えるものとする
- ◆ 事務局にて順位表及び得失点差、個人ランキング・チームランキングの集計を行う

● 審判団について

【審判団】

- ◆ 審判団の編成は『主審』1名『ラインズマン』2名『スコアラー』1名の計4名で編成される

【主審・ラインズマン】

- ◆ 各試合の主審・ラインズマン・スコアラーは主催チームが定めるチームより代表者が責任を持って選出すること
- ◆ 任命された審判団は必要用具を準備すること（今期に限り5月までの準備期間を設ける）
- ◆ 審判免許は不問とするが、ある程度のサッカールールを認識した者に担当させることとする
- ◆ 人数不足やルール認識不足等で審判を出せないチームはペナルティを与えるものとする
- ◆ 主審にはイエローカード・レッドカード・ホイッスルの携帯を義務付ける
- ◆ 主審・ラインズマンは試合前にメンバーチェック、レガース着用の確認を行うこと
- ◆ ラインズマンはフラッグを使用すること
- ◆ 主審とラインズマンは、当リーグオリジナルの競技ルールに則り、円滑に試合をジャッジすること

【スコアラー】

- ◆ スコアラーは各チームより提出されたスコアシートに試合経過や成績を記入していく役割を担う
- ◆ スコアラーはピッチ外の中央に配属される
- ◆ 各チームの代表者及び選手・スタッフは記録しやすいよう、スコアラーに協力すること

● Most Example Team について

- ◆ Most Example Team とは最も模範的なチームのことを指す
- ◆ Most Example Team は M. E. T ポイントによって決定する
- ◆ M. E. T ポイントは非公開とする
- ◆ M. E. T ポイントの対象は下記の通りとする

【加点ポイント】

- ・ 主催チーム
- ・ 他チームへの救済処置
- ・ フェアプレー（ノーカード）
- ・ 会議・交流会出席（×人数）
- ・ その他（事務局判断）

【減点ポイント】

- ・ 乱闘・暴言・暴力行為
- ・ 期限内での試合未消化
- ・ 都合による試合中止
- ・ 人数不足等の試合催行妨害
- ・ レッドカード退場者
- ・ 審判団未派遣
- ・ 選手登録不備選手の出場
- ・ 連絡・報告遅延
- ・ イエローカード
- ・ タイムスケジュール遅延
- ・ 必要用具忘れ
- ・ 試合後の挨拶&握手拒否
- ・ その他（事務局判断）

● M.E.Tポイントの加点について

【他チームへの救済処置】

- ◆ 他チームへの協力・援助を施したチームには、ボーナスとしてM.E.Tポイントを加点する
- ◆ 具体的に他チームへの協力・救済とは『他チームの人数不足による選手・審判団のレンタル』や『必要用具（規約に明記してある試合開催に必要なもの）等のレンタル』などを指し、その他事務局の判断により加点する場合もある

【フェアプレー（ノーカード）】

- ◆ その名の通り、該当試合においてイエロー・レッドカードによるペナルティを受けなかったチームには、ボーナスとしてM.E.Tポイントを加点する

【会議・交流会出席（×人数）】

- ◆ 代表者会議やレセプション、その他事務局が提案する公式行事等への出席は、リーグ運営に協力的であると判断し、ボーナスとしてM.E.Tポイントを参加人数に対し加算するものとする

【その他（事務局判断）】

- ◆ ソサイチリーグ運営上、事務局が模範的・協力的と認めたチームには、事務局判断のうえボーナスとしてM.E.Tポイントを加算することもある

※（例）2009年代表者会議後のソサイチ体験会主催…Spirytusに加算しました

● M.E.Tポイントの減点について

【乱闘・暴言・暴力行為】

- ◆ ソサイチリーグはいかなる乱闘・暴言・暴力行為を厳しく罰するため、ペナルティとしてM.E.Tポイントを減点する

◆ 乱闘については喧嘩両成敗として両チームより、暴言・暴力行為は最初に始めた選手の所属チームより減点する。ただし、暴言・暴力行為に対して報復・応戦をした時点で乱闘と判断することとする

- ◆ 審判団に対する暴言も同様の処置を行うものとする

- ◆ 主催チーム及び該当試合審判団は乱闘・暴言・暴力行為が行われた場合は事務局へ報告することとする

【期限内での試合未消化】

- ◆ 対戦日程が正式決定した後、どちらかの都合で試合が行えなくなった場合で、対戦相手の合意の上、試合日の2週間前であるならば、試合の延期を認めることとする

- ◆ その後期限内に試合消化が出来なかった場合、試合延期を申し出たチームの不戦敗として記録し、ペナルティとして該当チームのM.E.Tポイントを減点する。なお、スコアは0対-5として試合延期チームの勝ち点より-2、対戦チームは+2とする

【都合による試合中止】

- ◆ 試合日の2週間前を過ぎた後、都合で試合が行えなくなった場合、該当チームを不戦敗とし、ペナルティとして試合キャンセルを申し出たチームのM.E.Tポイントを減点する

【人数不足等の試合催行妨害】

- ◆ 試合当日に当リーグが定める最小催行人数（7人）に満たない人数となった場合は、人数不足による試合催行妨害ペナルティとして該当チームのM.E.Tポイントを減点する。なお、他チームより選手をレンタル（この場合レンタル選手の成績は反映しない）し、試合のスコアは0対-2からスタートして試合を行うことを許可する。この際、選手レンタルに協力した該当チームは対戦チームの救済処置ボーナスとしてM.E.Tポイントを加点する

【レッドカード・イエローカード】

- ◆ 試合中レッドカードをもらった場合、ペナルティとして該当選手が所属するチームのM.E.Tポイントを減点する。

- ◆ また試合中イエローカードの場合も同様に、ペナルティとして該当選手が所属するチームのM.E.Tポイントを減点する。また、同一選手が同一試合中に再びイエローカードをもらった場合、フェアプレーの精神に反する行いとして最も厳しく罰し、ペナルティとしてイエローカードの減点ポイントとレッドカードの減点ポイントを合計したポイントが減点される

※同一選手が同一試合で2枚のイエローカードを受けた場合は、1枚目+2枚目のイエローカードの減点ポイントとレッドカードの減点ポイント合計したポイントが減点される

- ◆ 試合中一枚のカードも受けず、クリーンな試合を行った該当チームにはボーナスとしてM.E.Tポイントを加点する

【審判未派遣】

- ◆ 主催チームが任命した審判団編成該当チームが、試合当日審判団を選出・派遣出来なかった場合ペナルティとして該当チームのM.E.Tポイントを減点する

- ◆ 審判団を派遣出来たとしても、ルール等の認識不足で該当試合を著しく壊した審判団を派遣した該当チームは、同様のペナルティとしてM.E.Tポイントを減点する

【選手登録不備選手の出場】

- ◆ 事務局に未登録の選手の出場が発覚した場合は、ペナルティとして該当チームの M. E. T ポイントを減点する
- ◆ また出場した登録外選手は、ペナルティとして 2016 年シーズン中の出場は一切認めない

【連絡・報告遅延】

- ◆ 試合終了後の報告書・スコアシートの提出が締め切り以内に行われなかった場合、ペナルティとして該当チームの M. E. T ポイントを減点する
※結果報告が遅れる場合は理由を添えて事務局に連絡すれば、この全てではない

【タイムスケジュール遅延】

- ◆ 主催チームが製作したタイムスケジュールにおいて、スケジュールを狂わせ、その結果当日の試合運営に著しく影響を与えた場合、ペナルティとして該当責任チームの M. E. T ポイントを減点する
- ◆ スケジュール遅延の限度は 15 分と定める
※キックオフ時間が 12 時に指定してある場合、12 時 15 分を超えてのキックオフが行われた場合は上記のペナルティが適用される

【必要用具忘れ】

- ◆ 事務局が定める試合催行に必要な書類や用具を忘れた場合、ペナルティとして該当チームより M. E. T ポイント減点する。この際、用具を貸し出したチームには他チームへの救済処置ボーナスとして M. E. T ポイントを加点する

【試合後の挨拶&握手拒否】

- ◆ 試合終了後の挨拶と握手を拒否した該当チームは、非紳士的行動ペナルティとして M. E. T ポイントを減点する

【その他（事務局判断）】

- ◆ 上記のペナルティ事項以外で事務局がペナルティを与えるべき言動があったと判断した場合、事務局の検討によりペナルティを加えることもある

● 各種表彰

【リーグチャンピオン】

- ◆ リーグ戦順位査定基準（勝ち点制等）が最も最高位のチームに贈られる

【Most Example Team (M. E. T)】

- ◆ M. E. T は、当リーグ所属チームの中で最も協力的かつ模範的なチームに贈られる

【得点王】

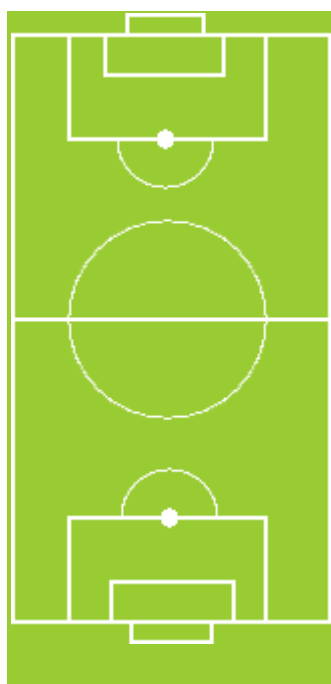
- ◆ 得点王は、当リーグにおいて最も得点を獲得した選手に贈られる

競技ルール

【第1条】 基本ルール

- ◆ 基本的に、国際サッカー連盟（FIFA）の定めたサッカーのルールで試合運営を行う
- ◆ 当リーグのローカルルールとして、競技運営において重要なルールを下記に記載するものとする
- ◆ オフサイドルールは採用する
- ◆ スローインとゴールキック・コーナーキック再開・ゴールキーパーには、試合をスピーディーに展開する為、6秒ルールを適用する

【第2条】 競技フィールド



タッチライン	70m
ゴールライン	45m
センターライン	タッチラインの中央地点 (35m)
ペナルティエリア	横：ポストより 11m 縦：ゴールラインより 11m
ゴールエリア	横：ポストより 4m 縦：ゴールラインより 4m
ペナルティマーク	ゴールポスト中央のペナルティライン上
ゴール	通常のゴール (7.32m)
コーナーアーク	半径 60cm の 4 分の 1 円弧
・ センターサークル及びペナルティアークは、必要に応じて準備する（省略も可）	
・ 縮尺はサッカー用フィールドの約 66% で計算する	

- ◆ 競技フィールドは、長さ 70 メートル・幅 45 メートルの長方形とする
- ◆ ペナルティエリア・ゴールエリアの計測は、両ゴールポストとゴールラインを基準とする
- ◆ ペナルティマークは、ゴール中央とペナルティラインが交わる地点に設定する
- ◆ ゴールは、通常のゴールを使用することとする

【第3条】 ボール

- ◆ ボールサイズはサッカー5号球を使用する
- ◆ 各チーム最低1個の試合球所持を義務付ける

【第4条】 競技者の数及び選手交代

- **競技者数**
- ◆ 試合は8人の競技者からなる2つのチームにより行われる
- ◆ 競技者8人のうち1名はゴールキーパーとする
- ◆ 試合開始最少人数は7人対7人とし、それ以下の場合は試合を開始することは認めない
- ◆ 反則による退場者等が出て、チーム競技者が5人以下となった場合は、いかなる状況であろうとも試合を中止し、当リーグ規約の不戦敗が施行される
- **選手交代**
- ◆ 試合中の選手交代回数は無制限とし、その際の交代人数は何名でも可とする
- ◆ 選手交代により一度フィールドアウトした選手の再出場も認める
- ◆ **選手交代は、自由な交代とし、GK 以外はインプレー中に交代可する**
- ◆ 交代はハーフラインより交代とし、交代退場者がフィールドアウトする前に、交代選手が試合フィールドに入った場合、交代選手のファウルとなりイエローカードと相手チームのペナルティマークからの間接フリーキックが与えられる

【第5条】 競技者の用具

● 安全要項

- ◆ 競技者は、自分自身あるいは他の競技者の危険となるような用具やその他の物（宝石類を含む）を身につけてはならない

● 試合装備

- ◆ 競技者が身につけなければならない基本的な用具は下記の通りとする

- ① チームで統一されたユニフォーム及びビブス（次年度はユニフォームのみとする）
- ② パンツ（色は統一の必要はない。ジャージ不可）
- ③ ストッキング（色は統一の必要はない）
- ④ レガース（すね当て）
- ⑤ サッカースパイクおよびフットサルシューズ

● メガネについて

- ◆ メガネの使用は禁止とする。ただし、強度の高いプラスチック製スポーツグラス・コンタクトレンズは使用を許可する

● ゴールキーパー

- ◆ ゴールキーパーは、自チーム競技者、対戦チーム競技者、主審と区別のつく色の服装をする

【第6条】 審判

● 審判の権限

- ◆ 各試合は主審・ラインズマンによってコントロールされ、任命された試合に関して競技規則を施行する一切の権限をもつ

● 職権と任務

- ◆ 主審・ラインズマンは競技規則を施行する
- ◆ 主審は使用するすべてのボールが第3条の要件に適合していることを確かめる
- ◆ 主審は競技者の用具が第5条の要件に適合していることを確かめる
- ◆ 主審・スコアラーはタイムキーパーを務め、試合を円滑にコントロールする
- ◆ 外部からのなんらかの妨害や天災等において競技者等に危険が及ぼうとした場合、主審の判断にて試合を停止・中断、あるいは打ち切ることが出来る
- ◆ 競技者が重傷を負ったと主審が判断した場合は、試合を停止し、負傷者をフィールドから運び出させる。負傷した競技者は、試合が再開された後にのみフィールドに復帰できる
- ◆ 競技者の負傷が軽いと主審が判断した場合は、ボールがアウトオブプレーになるまでプレーを続けさせる
- ◆ 負傷によって出血した競技者をフィールドから離れさせる。競技者の出血が止まっていることを主審が確認し、主審の合図を受けてから、その競技者は復帰できる
- ◆ 反則をされたチームがアドバンテージによって利益を受けそうなときは、プレーを続けさせる。しかし、予期したアドバンテージがそのときに実現しなかった場合は、そのもととなった反則を罰する
- ◆ 競技者が同時に2つ以上の反則を犯した場合は、より重大な反則を罰する
- ◆ 警告または退場となる反則を犯した競技者に懲戒処置をとる
- ◆ 責任ある態度で行動しないチームや選手に対して処置をとり、さらに主審の判断により、チームや選手をフィールドおよびその周辺から立ち退かすことができる
- ◆ 認められていない者がフィールドに入らないようにする

【第7条】 試合時間

- ◆ 前半 20 分 / ハーフタイム 10 分 / 後半 20 分とする
- ◆ 引き分けによる延長戦・PK 戦は行わない

【第8条】 プレーの開始及び再開

● キックオフ

- ◆ センタースポット上にボールを置き、センターラインより前にボールを出してから開始する

● 再開

- ◆ タッチラインからの再開はスローインとする
- ◆ スローイン出来る状態から 6 秒以内にスローイン再開しなければならない。違反した場合は相手ボールとなる
- ◆ 攻撃側の競技者が最終的にボールタッチした状態でゴールラインを越えた場合は、ゴールエリア内より守備側のキックによりプレーを再開する
- ◆ ゴールキックできる状態から 6 秒以内にゴールキック再開しなければならない。違反した場合は相手チームのコ

ーナーキックからの再開とする

- ◆ 守備側の競技者が最終的にボールタッチした状態でゴールラインを越えた場合は、コーナーアークから攻撃側のキックによりプレーを再開する
- ◆ コーナーキックできる状態から **6秒以内**にコーナーキック再開しなければならない。違反した場合は相手チームのゴールキックからの再開とする
- ◆ ファール後の再開は、ファールを受けたチームがファールを受けた場所からの直接 or 間接フリーキックにより再開する
- ◆ 守備側の競技者はフリーキック地点より5メートル以上離れなければならない
- ◆ 守備側の競技者によるペナルティエリア内でのファール後の再開は、攻撃側のペナルティマークからのペナルティキックとする
- ◆ ペナルティキックの場合、ゴールキーパーとペナルティキッカー以外の全ての競技者は、ペナルティエリアの外側に出なければならない（ペナルティアークがある場合はアーク内にも入ることは禁止する）

【第9条】 得点

- ◆ ゴールにボールを入れたチームがその前に競技規則の違反を犯していなければ、両ゴールポストの間とクロスバーの下でボールの全体がゴールラインを越えたとき得点となる
- ◆ 女性競技者がゴールした場合は2点とする

【第10条】 オフサイドとファール及び不正行為

- オフサイド
- ◆ オフサイドルールは適用する。（注：ゴールキック時はオフサイドにはならない）
- ファール及び不正行為
- ◆ ファール及び不正行為については、国際サッカー連盟(FIFA)の定めたサッカーのルールに準ずる
- ◆ ボールを持つ選手へのスライディングタックルやショルダータックル・接触プレーは認める。ただし、主審のファールへの裁量により判断される
- 警告と退場
- ◆ 試合中に警告（イエローカード）を2回受けた競技者は、その時点で退場処分となり、次節の試合出場も停止する
- ◆ 試合中に退場（レッドカード&イエローカード2枚）を受けた競技者は、その時点で退場処分となり、次節の試合出場を停止する
- ◆ 競技者のイエローカード累積が偶数枚となった時点で、次節の試合出場を停止する
- ◆ 競技者のレッドカード累積が2枚になった時点で、残り全試合の出場を停止する

【第11条】 ゴールキーパー

- ◆ ゴールキーパーはインプレー中にボールをキャッチした場合、**6秒以内**にスローまたはキックしなければならない
- ◆ **6秒以内**であれば、ペナルティエリア内を自由に移動する事が出来る
- ◆ ゴールキーパーは味方競技者からのパスやスローインを手でキャッチすることが出来ない
- ◆ ゴールキーパーはペナルティエリア内では最大限の保護を受ける